

## 第 24 期 第 5 回 材料工学委員会 バイオマテリアル分科会

### 議事録

1. 日時 令和元年 11 月 6 日(水)15:00-17:00
2. 場所 日本学術会議 5 階 5-A (1) 会議室
3. 出席者(敬称略) 片岡一則 委員長、塙 隆夫 副委員長、岸田晶夫 幹事、中野貴由 幹事、明石 満、宇尾基弘、菊池明彦、丸山 厚、大矢根綾子、春日敏宏、由井伸彦(特任連携委員)、加藤雅之(学術会議事務局)  
出席委員 10 名  
片岡委員長が司会を担当

欠席者(敬称略) 岡野光夫、新家光雄、田畑泰彦、高原淳  
欠席委員 4 名

#### 4. 議題

- (1) 第 4 回 バイオマテリアル分科会(4 月 15 日開催)の議事録確認
- (2) 旅費と謝金の扱いについて
  - ・遠方からの場合は旅費辞退・謝金受け取り、近傍の場合は謝金辞退・旅費申請可とする(今回の分科会から)。(片岡委員長、塙副委員長)
  - ・意欲のある委員が集まるために旅費の確保は最優先に考えてほしい。(明石委員)
- (3) マスタープラン 2020 ヒアリング(9 月 16 日)報告
  - ・バイオマテリアルの重要性を強調するようなヒアリングを行った。(由井委員)
  - ・具体性を求める質問が多かった。(菊池委員、中野幹事)
- (4) 2019 年度主催シンポジウム詳細について
  - ・具体的なプログラムについての説明をいただいた。ただし、共催の手続きの手違いから共催にならなかったため、名称の「日本学術会議シンポジウム」はそのまま、共催の部分はとり除く。(岸田幹事)
- (5) 2020 年度学術会議シンポジウムについて
  - ・スケジュールとしては、材料工学委員会(例年 2 月)で承認を受け、幹事会(毎月第 4 週の土曜日のため、3 月に提出)で 2 か月前までに認められる必要。さらに、24 期の終了の 2020 年 9 月末まで。「学術の動向」に執筆の必要性がある可能性。(片岡委員長)

- ・シンポジウムミッションは、バイオマテリアルの省庁向けのアピールや一般の方へのアピール。  
(片岡委員長)
- ・公益社団法人や一般社団法人の共催が必要。(公社)日本化学会、(公社)高分子学会、(公社)日本金属学会、(公社)日本セラミックス協会、(一社)日本歯科理工学会、(一社)日本人工臓器学会、日本 DDS 学会。(片岡委員長)
- ・「バイオ材料工学」、「バイオアダプティブ材料」が一つのキーワード。(宇尾委員、中野幹事)
- ・材料工学委員会への提出資料は、仮タイトル、趣旨、予定共催学会、場所(日本学術会議会館講堂)、日程(2020年7月22日(水))などの必要事項を提出。(片岡委員長)
- ・開催の方向で考えた方がよい。(全委員)
- ・日本バイオマテリアル学会から経費負担を行う。(由井委員)
- ・企業の方にも講演をお願いしたほうがよい。(明石委員)
- ・「バイオ材料工学」の今後の予算化を考慮し、省庁関係者を集めることもよい。(菊池委員、中野幹事、由井委員)
- ・若い先生にも講演いただく。(丸山委員)
- ・2019年11月15日の材料工学委員会で簡単な提案を行う。
- ・2020年7月22日(水)に開催することとなった。
- ・岸田幹事をWG長にシンポジウムの開催を計画するWGを組織する。(片岡委員長)
- ・2019年内にシンポジウムの概要についてWGを中心にメールベースで案を作成し、次回の分科会(次回材料工学委員会の前)にて承認を得て、2020年の最初の材料工学委員会(例年2月)に諮り、その後の幹事会(2020年4月開催の回)での承認を受けるスケジュールで活動する。(岸田幹事)

#### (6) 今後の予定について

- ・年度内に実施する。

第5回(今回)の議事録確認については、片岡委員長一任とすることが了承された。

文責 岸田晶夫・中野貴由